



<育成を目指す資質・能力>

※別紙「情報活用能力育成のための年間指導計画」に記載

<関連する各教科等の力>

<p>【国語科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文章などの情報の意味を正確に理解することができる。 ○観察やインタビューなどの一次情報や本やインターネットなどの二次情報を集めて話し合う。 ○出典や引用等の適切な方法を知ることができる。 ○情報を収集・整理・分析し、それらを話し合い、考えを深めることができる。 ○相手と目的を考え、他者に根拠を示し、議論や説明をすることができる。 ○言葉、図表、写真等を活用し、効果的な表現をすることができる。 ○キーボードによる日本語入力の技能を高めることができる。 	<p>【音楽科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歌唱や演奏等を映像等で確認し、自己の課題を明確に把握することができる。 ○教材や作曲家、作詞者などの情報をインターネット等で調べることができる。 ○音楽ソフトなどを活用して簡単な音楽づくりを楽しむことができる。 ○インターネット等からの音楽に関する情報や作曲家に関する情報を収集・分析することができる。
<p>【社会科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資料や専門家、インターネット等からの情報を収集・分析することができる。 ○Web ページやメールによる情報発信方法を学ぶことができる。 ○インターネットの Web 検索で情報を集めることができる。 ○地域の人々に手紙で聞いたりインターネットで調べたりすることができる。 ○国内や県内の特色ある地域に関してインターネットで資料を収集・分析することができる。 ○社会にもたらす情報化の影響について理解したり、考えたりすることができる。 ○情報産業に従事している人や情報産業の役割を理解することができる。 ○日常生活や産業分野で情報化が進展していることを理解することができる。 	<p>【図画工作科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身の回りのものを撮影したり、加工したりして作品を制作することができる。 ○作品などを拡大して提示し、感じたことや思ったことを話し合うことができる。 ○インターネット上の画像を検索し、好きな美術作品などを紹介することができる。 ○自分の作品を撮影し、デジタルポートフォリオをつくることができる。 ○プログラミングによってアニメーションや映像などを制作することができる。
<p>【算数科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○収集したデータを表等に整理し、正確に分類することができる。 ○データを目的に応じてグラフ化し、そのグラフが適切に検討することができる。 ○身の回りの数に関する映像を撮影し話し合うことができる。 	<p>【家庭科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○衣食住に関する情報についてインターネット等を活用して収集・分析することができる。 ○購入する物の情報を収集・分析することができる。 ○家庭生活に関する情報についてインターネットを活用して収集・分析することができる。
<p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○テレビや新聞、インターネットを活用して自然等の変化を調べることができる。 ○観察記録や実験データを表やグラフにまとめ、そのデータの整理をすることができる。 ○インターネットを活用して新たな情報を得ることができる。 ○身の回りの自然に関する映像を撮影し話し合うことができる。 	<p>【体育科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分や他者の動きを映像等で確認し、自己の課題を把握したり、課題解決の方法を考えることができる。 ○運動の特性や留意点と練習方法や場・用具・ルール等の工夫について、インターネット等で調べることができる。
<p>【生活科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校にはどんな場所があるのか探検することができる。 ○自分たちの通学路の安全について調べることができる。 ○自分たちの町にどのような施設や人がいるのか探検することができる。 ○学習したことや成長したことを保護者や異学年の人と交流することができる。 	<p>【外国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ネットワークや教育機器などを活用し外国語や外国の文化に慣れ親しむことができる。 ○インターネットの情報を収集・分析・活用し、外国の人と交流したりすることができる。 ○外国語を使った動画やリーフレットなどをつくり、他者と交流することができる。
	<p>【道徳科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○軽い気持ちで SNS 等へ書き込むことの危険性について気づくことができる。 ○文字による情報のやりとりは誤解を生む危険があることに気づくことができる。 ○メールでのコミュニケーションの特性を知り、その危険性についても理解することができる。 ○個人情報保護することや知的財産権を尊重することの大切さに気づくことができる。

<関係機関等との連携>

- ・ ICT 支援員
- ・ 地元企業
- ・ 大学等
- ・ NPO 法人
- 学習ボランティア